

2011年度

科目名	日本文化史B				
担当教員	阪田 宗彦				
配当	文 2・教育2・人間2			コード	22044
開期	後期	講時	火曜日2限	単位数	2
授業テーマ	正倉院宝物				
目的と概要	正倉院宝物がもつその由緒と特質及び現状について詳述し、7・8世紀の東西交渉史の一端を理解し、改めて21世紀の東アジア文化史のなかでの位置付けを考えてみようとするものです。スライド・ビデオを常時使用。				
成績評価法	レポート等(70%)・平常点(30%)で評価します。時には小テストを行うこともあります。				
テキスト	使用しない。 必要な参考文献は明示する。				
参考書	使用しない。				
履修に当たっ ての注意・助言 /準備学習	近年出版された和田軍一『正倉院案内』(1996、吉川弘文館)を読んでおくこと本講の理解に役立つと思います。				
講義計画					
○ 正倉院宝物 1. 正倉院の鏡 2. 正倉院の年中行事品 3. 正倉院の楽器 4. 正倉院の屏風 5. 正倉院の銀器 6. 正倉院の文房具 7. 正倉院の仏教工芸 8. 正倉院宝物の特質 9. 正倉院宝物にみられる文様 1 10. 正倉院宝物にみられる文様 2 11. 正倉院宝物にみられる文様 3 12. 正倉院宝物の復元事業 13. 正倉院宝物の保存科学 14. タイムカプセル化され伝世した宝物の意義は？ 15. まとめ					